

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公表番号】特表2008-539037(P2008-539037A)

【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-509137(P2008-509137)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療用超音波エネルギーを患者に供給する装置であって、該装置は、少なくとも一つの超音波変換器を有するスキャンヘッドと、該スキャンヘッドを支持するサスペンションデバイスと、該超音波変換器を制御する治療コントローラとを備えており、

該治療コントローラは、 35 J/cm^2 よりも大きいエネルギー束(EF)を供給するようにプログラム可能であり、該EFは次式によって決定され、

$$[(p) \times (l/v) \times (dc) \times (n_l)] / (sa)$$

ここで、

p = 電力、

l = ライン長、

v = 速度、

dc = デューティサイクル、

n_l = ライン数

および

sa = スキャン面積である、装置。

【請求項2】

前記装置は、 109 J/cm^2 よりも大きいEF値を生成するのに十分な超音波エネルギーを入力するように構成されている、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記治療コントローラは、複数の損傷フィールドを患者内に生成するようにプログラムされている、請求項1または2に記載の装置。

【請求項4】

前記損傷フィールドは、少なくとも部分的に重複する、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記EF値は、組織内の温度を56付近またはそれ以上に上昇させるのに十分である、請求項1～4のいずれか一項に記載の装置。

【請求項6】

前記治療コントローラは、脂肪組織を破壊し、同時にコラーゲンを変性させる治療効果を生成するようにプログラムされる、請求項1～5のいずれか一項に記載の装置。

【請求項7】

前記治療コントローラは、超音波エネルギーの2以上の印加において所望のEF値を組織の単一の領域に供給するようにプログラムされている、請求項1～6のいずれか一項に記載の装置。